



令和4年10月28日（金）

10月28日、“なごみていまつり”が盛大に開催されました。いつもは夏の開催でしたが、今年は秋祭りとなりました。今年の祭りの企画、立案は入職1～2年の若手職員5名、サポート役は先輩職員としてチームを結成し、若いフレッシュな考えを取り入れながら、「どうやったらご利用者の皆様の思い出に残る楽しいお祭りになるのか？」を何度も業務の間に話し合いと準備を重ね、期待と不安に胸を膨らませながら当日を迎えました。午前のイベントはご利用者の皆様も大好きな時代劇「水戸黄門」を披露しました。



【少し怪しげな黄門のご老公一行】



【凄みのある演技にビックリ】

午後からのイベントは花火鑑賞です。大型スクリーンに花火を映し夜空に舞う大花火をご覧頂きました。大迫力の花火に皆様大興奮！！しかし花火を見ていると何故か口寂しくなってくる・・・分かりますよ！そんな時はお任せ下さい。飲み物、そしてアイスの露店を開店しご利用者の皆様にコロナ禍でなかなか楽しむ事が出来なかった真夏の夜祭りを満喫して頂きました。



【柏崎、長岡、片貝の花火のダイジェスト映像】



【飲み物はいかがですか～♪】

終了後の多くのご利用者の笑顔を見ることができました。そして夏前より準備を進めてきた若手職員たちの疲れ切った表情の奥には、自分たちの力で一大イベントをやり遂げた満足感、達成感、充実感で満ち溢れていました。コロナ禍で行事が縮小され、ご利用者の楽しみが減っている昨今ですが、沢山の笑顔に包まれた貴重な時間となりました。



【水戸黄門の出演者】



【私たちが企画・運営しました】

（なごみ荘介護員 中山 憲太）